三井生命保険株式会社発行「繁栄」
平成21年11月号　P.5

わが社の転機
「そのとき私は・・・」

ご自身のビジネスに合ったスーツで、キャリアを積んでいただきたい。

株式会社エニーズ
代表取締役　川﨑昌子氏

オーダースーツを作り始めた原点

ニューヨークのウォール街には、キャリアウーマンを対象にした素晴らしいオーダーサロンがあり、そこに行くことがステータスで、そこの服を着て仕事をすることが満足につながることを私は直に感じました。

服というのは価格だけではないし、デザインだけでもなく、それを手に入れるまでのプロセスが大事で、その目に見えないものをどのようにプランニングできるか…これがレディースのオーダースーツを作り始めた私の原点です。

レディススーツづくりの難しさ

紳士服のオーダーメイドからスタートし、女性のオーダーメイドスーツを手がけ、現在では九割がたがレディースです。しかし、メンズとレディースでは作り方がまるで違います。縫製の工程が逆さまなのです。そのためかレディース専門の縫製工場がないのです。片っ端から電話して、ようやく協力してくれる縫製工場を探し出しました。

次に困ったことは、レディースのオーダースーツを作るパタンナーがいないのです。どうにかノウハウを蓄積してオーダーメイドに対応できるパタンナーのチームを作り上げましたが、マスターパターンをつくるまでに一年半かかりました。裁断工程でも同じように苦労しました。

何度も諦めかけましたが、待てよ、それほど難易度が高いということは誰も真似できない、これをやれば成功率は高いのだと考えたのです。

こんなこともありました。テストではオーケーだったのが、実際に出来上がったものは私がデザインしたスーツではなかった。あれだけ綿密にチェックしたものが本番で変わってしまうなんて、理由が分からないのです。データインプットした1、000を超えるパーツを全部取り消して、一からインプットし直しました。ものすごく費用がかかったし、お客様に謝りにいき、返金にも対応しました。でも一点の妥協もしませんでした。妥協したら自信を持って営業できません。妥協していたらビジネスとして伸びなかったと思います。

働く女性をファッションで応援したい

私たちの店では、お客様の個性（キャラクター）を最大限に引き出すスタイリストという意味で、「キャラリスト」という専属スタイリストがお客様に付きます。お客様一人一人のライフスタイル、ビジネスの特徴などに合わせて服装を提案します。現在、会員は一万人を超え、リピーターの方が55％を超えています。

エニーズには3つのブランドがあり、働く女性にふさわしいスーツ、女性が元気になれるスーツを目指しています。アメリカではスキルアップする女性は着るものが違うとよく言われます。私は、働く女性にきちんとスーツを着て仕事をしてもらいたい、自分のスタイルにジャストフィットしたスーツを着てキャリアを積んでいただきたいのです。

今、海外、特に韓国、台湾、香港、シンガポールのオフィス系、キャリアウーマン系を囲い込み、Ｗｅｂサイトでの販売を考えています。私たちのスーツをアジアで有名にしたいというのが私の夢です。（談）

●オーダーメイドスーツの企画・製造・販売　●本社　大阪市西区　●社員　24名